

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年2月23日（火） 14時から16時
会 場	桃園区民活動センター 洋室2・3
テ ー マ	中野区基本構想検討素案について
出席者 区 民	計15人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、中部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>中野区では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対策として、100人以上が集まるイベントなどの事業は、令和2年3月末までは中止することとし、本日のような小規模な事業については、十分に注意しながら実施することとした。そのため、急遽、本日はグループワークではなく、一問一答形式で行うこととしたので、ご協力をいただきたい。</p> <p>現在の基本構想は、平成17年に制定し、平成28年3月に改定したものであり、そのときから社会状況が変化してきている。10年後に目指すまちの姿や10年後に区がどうしていくのか、区民の皆さんと一緒に考えていきたい。</p> <p>本日は、皆さんが、生活の中で感じていること、不安なこと、考えていることなどを教えていただき、様々な意見交換ができればと思っている。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>「時代の変化に対応したまちづくりを進めます」に「連続立体交差事業」とあるが、西武新宿線について、各駅停車の電車は地上、急行等の電車は地下を走行するという検討をしたことはあるか。</p>	<p>東京都の事業である西武新宿線の連続立体交差事業は、踏切をなくし、交通渋滞を緩和するという目的のものである。そのため、区としては、現状のまま地上を走行する線路を残すという考えはない。</p>
<p>「環境負荷の少ない持続可能なまちをつくります」とあるが、区ができる範囲で再生可能エネルギーを利用していく必要があると思う。</p>	<p>来年度から、家庭等への蓄電池システムの導入支援を始める予定である。中野区も再生可能エネルギーを積極的に利用しているが、完全にではない。中野区環境基本計画の改定を進める中で、再生可能エネルギーの利用についても検討していきたい。</p>
<p>中野区は南北の交通の便が悪いと感じる。また、中野駅周辺はコンクリートの建物が多く、ふるさとという感じがしない。</p>	<p>中野区は、南北にバスが走っているが、大きな道路を外れると走っておらず、不便な地域があることは承知している。10年後に向けては、区内の公共交通について検討していきたい。また、まちの景観については、景観方針の策定に向けた検討を行っている。</p>
<p>中野区にも、伝統・文化があると思うが、中野に暮らしていてもそれが見えてこないと感じる。</p>	<p>中野区には、伝統・文化を守り、伝えていく活動をしている団体がたくさんある。そういった団体の活動を支援し、伝統・文化を守り、伝えていくことは大切だと思っている。オリンピック・パラリンピックもあるので、その中でも、中野区の伝統・文化をPRしていきたい。</p>
<p>自転車が歩道を走るなど、歩きにくいまちだと感じる。</p>	<p>まちづくりを進める中で安全な歩行者空間を実現していきたい。</p>
<p>「職員力でまちの価値と地域の力を高めます」について、区民と協働・協創するということも盛り込んでほしい。</p>	<p>本文にある「様々な主体と連携・協力」の「様々な主体」という言葉には、区民も含まれている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>「若者のチャレンジを支援します」とあるが、どういう支援を考えているのか。また、気軽に使える若者の居場所がほしい。</p>	<p>中野には、面白くて楽しいことを行っている若者が多くいると感じている。区も若者とつながり、支援していきたい。現在、中野区は若者支援の取組が弱い。次の10年で力を入れたいので、このように描いている。今後、ひきこもりの若者の実態把握を進めしていきたいと考えている。また、今後、(仮称)総合子どもセンターという施設を開設し、若者の相談支援や居場所の提供を行っていく予定である。</p> <p>また、新しく開設する中野東中学校等複合施設の図書館内にビジネス支援機能としてコワーキングスペース等も設ける予定であり、若年層にも活用してもらいたい。</p>
<p>「若者のチャレンジを支援します」とあるが、区の実施する意見交換会等に参加する若者は少ない。区が、積極的に若者の声を集めるようにしてほしい。</p>	<p>若者が多いのが、中野区の特徴であり、様々に地域で活動している若者がいる。今までは、そういった若者に区がアプローチできていなかったと感じている。今後は、若者の声を聴き、地域の活性化につなげていきたい。</p>
<p>「中野区は、狭あい道路や木造住宅密集地域が多いことなどから、災害時における被害の拡大が懸念されます。」とあるが、自分が住んでいる地域は、まさにそういう地域である。命にかかわる問題なので、できる限り改善してほしい。</p>	<p>災害が起こった際の避難場所と避難道路の確保について、地域の人と話し合いながら、中野区としても、しっかりと取り組んでいきたい。</p>
<p>羽田空港の機能強化と飛行経路の変更等について、騒音の問題が発生している。今から飛行を止めることはできないと思うが、決められたルートを正確に飛行するようにしてほしい。中野区として、できる限りのことをしてほしい。</p>	<p>中野区として国に対して、運用前に、対象地域の住民に対して周知を図ることと、騒音対策や安全対策をしっかりと行うよう、要望した。他の関係する自治体の動向も注視したい。</p>
<p>災害時に水が使えることは大切だと思う。公園にも、災害時に備えて井戸を準備してほしい。また、地域のお祭りのとき等に合わせて、参加者と共に防災倉庫の場所や備品を点検する等の取組をすると良い。</p>	<p>中野区では、災害時に生活用水として活用できる井戸の登録を行っている。一部の公園にも、災害時のための井戸を備えている。</p> <p>また、地域には防災会があり、様々な活動をしているので、ぜひ参加してほしい。</p>
<p>「にぎわい」という言葉があるが、にぎわいよりも、住みよいまちにしてほしい。近年は、中野駅周辺が賑わい始め、近寄りがたくなっていると感じる。人が多いことはマイナス面もあることを加味してほしい。</p>	<p>中野のまちの魅力を高めていくためには、活力やにぎわいといった要素も必要と考えている。まちの姿(1)では活力やにぎわいをテーマに、(4)では安全・安心や快適さをテーマに10年後に目指すまちの姿を描いており、いずれの視点も持ちながら、まちづくりを進めていく考えである。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>鍋横区民活動センター等整備について、整備基本計画(案)が示されたが区民の検討委員会で検討してきた意見が、反映されていない。</p> <p>突然、看護小規模多機能型居宅介護事業所と都市型軽費老人ホームを作るという案が示され、区民活動センターの面積が狭くなった。この中野区基本構想検討素案にあるような、人と人とのつながりを大切にしたい観点から検討してきたのに残念だ。なぜこのようなことになったのか。</p>	<p>看護小規模多機能型居宅介護事業所については、地域包括ケアシステムを推進していくうえで、必要な機能だと思っている。</p> <p>鍋横区民活動センター等整備の詳細については、確認して改めてお伝えする。</p>
<p>「人とのつながり」という考えが、中野区基本構想検討素案の全体に流れていると感じた。まちの姿(2)についても、地域は子どもを介してつながることが大切だと思うが、今、子どもも子育て家庭も日々の生活に忙しく、なかなかつながれる状況にないと感じる。そのような中でも、児童館が中心となり、つながりをつくっていけると良い。</p>	<p>子どもを取り巻く環境の変化については、同様に感じている。今、働き方改革が言われているが、子育て中の家庭も、もっと家庭の時間をもてるようになると良いと思っている。</p> <p>今後の児童館は、地域の子育てに係る社会資源を組み合わせ、活性化する中心的な役割を担うものになりたい。</p>
<p>中野区の保育所には、園庭がないところが多い。園庭を備えた保育所を整備してほしい。</p>	<p>中野区は、園庭を備えた保育所をつくる土地が不足している。園庭のない保育所には、近隣の公園や連携する区立小学校の校庭を利用するなど工夫してもらっている状況である。まずは待機児童の解消を目指し、保育所の整備を進めていく。</p>
<p>地域図書館は、子どもから高齢者、外国人など、多様な区民が利用しており、地域の活性化のためには必要だと思う。</p> <p>子どもの数の減少に伴い、学校の統廃合をするのはやむを得ないが、それに伴いキッズ・プラザや地域開放型学校図書館といった色々な機能を学校に詰め込むと、子どもも大人も使いにくいと思う。</p>	<p>図書館については、今後、基本計画の策定に向け、検討をしていきたい。</p> <p>今後、中野区は、多くの施設が建て替え時期を迎える。また、団塊の世代が75歳以上になることで、医療や介護が必要になる人が増え、社会保障費が増えることが想定される。これまで以上に、優先順位をつけて事業や施設の見直しをしていく必要があると考えている。将来を見据えて、基本計画を策定していきたい。</p>
<p>「職員力でまちの価値と地域を高めます」の「職員力」とは何か。</p>	<p>職員には「地域に飛び出して、地域の抱える課題を見つけ出し、様々な主体との連携・協力により解決する」力が必要だと考えており、「職員力」は、そういった職員の能力を示している。</p>
<p>自転車は、使いやすく、環境負荷が少ない移動手段だと思う。車が路上駐車をしているから、自転車が車道を走りにくい状況があると思うので、自動車の駐車禁止区域を広げるなどしてほしい。</p>	<p>中野区は、自転車の登録台数が多く、区民の多くが自転車を利用している。来年度、区としてシェアサイクルを導入する予定である。自転車の利用環境を整える必要があると感じている。自動車の路上駐車解消については、警察と連携を深めていきたい。</p>
<p>西武新宿線の立体交差事業について、中井駅の近くの山手通りは線路の上を車道が通っていると思う。中野区内の西武新宿線の踏切もそのようにできないか。</p>	<p>西武新宿線の中井駅から野方駅までは、電車が地下を走ることが決まっている。そこから西は、まだ決まっていないが、鉄道が立体化される予定である。</p>